

ふじみサラダボール子育て情報



「きまりと約束」
令和4年6月1日号
板橋富士見幼稚園



家庭の躰は社会への規範

今回は、少し押しつけがましいお話です。
実は、お子さんが、社会のルールや約束を守れるようになるためには、ご家庭での躰（しつけ）がとても重要な鍵とされます。躰は「押しつけられる」ことですが、他人が強く求めると大きく拒否反応が起こります。ところが親が行う場合、この拒否反応が少ないのです。それは、親子の間に絶対的信頼関係と安定感があるからです。2歳を過ぎる頃から、どのご家庭でもお子様の躰が始まります。躰は、遊びの延長の中のような感覚で行って下さい。無理矢理ではなく、楽しく一緒に行うことが秘訣です。では、具体的に見ていきましょう。

はじめは、決まった時間に朝起こし、生活のリズムをつけることから始まります。「おはよう」「お・は・よ・う」と子どもから返ってくるようにしましょう。挨拶言葉です。人と初めて会うときには、「おはよう」「こんにちは」となどが学びとなっていきます。そして、少し衣服を着せてもらいながら、シャツに手を自分から通すようになっていたり、たたんだりする事をしていくと、やがて整理整頓に繋がっていきます。そして、朝の食事です。座ってゆったりとお話しながらいただきます。こぼしたり、残したりする経験も大切です。その度に、「もうごちそうさまですか。」と聞き返すと「うん」と返ってきたら、一つだけ、片付ける約束をしてみてください。食事が終わるまで座っている事や、片付ける事などが躰として、その後の生活の基本となっていきます。

次は、お散歩に出かける用意です。自分の持ち物を自分で持つ癖をつけていきましょう。靴を履く習慣も大切ですね。そして、お散歩はしっかり手と手を繋いで、語り合いながらゆったりと行いましょう。寄り道も大歓迎です。知っている人と合えば、「こんにちは」と声を交わし、挨拶言葉の実体験が出来るのです。こうして、一日を見つめながら、少しずつトライしてみてください。3歳になる頃には、ともしっかりとしたお子様に育つことでしょう。この先の躰や体験は、又の機会に続きをお話します。ゆったりと子育てを楽しみましょう。



【写真：5月31日にイチゴのジュース屋さんごっこをしました】